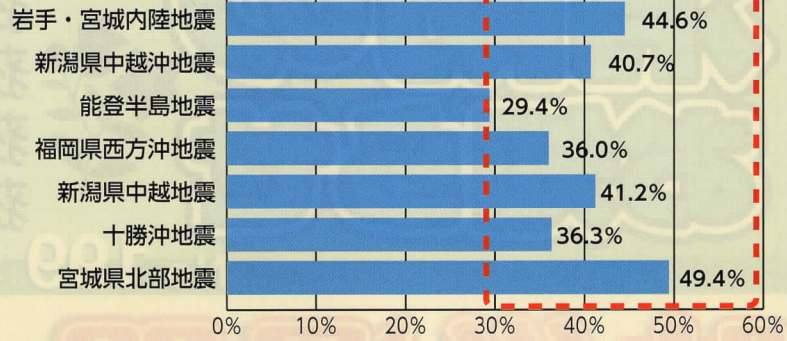


身を守るため家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう!



地震による負傷原因の3割から5割は「**家具類の転倒・落下・移動**」が原因です。家族や自分の身を守るために家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施しましょう。



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

ケガだけではない。対策をしていないと起こる**危険!**

火 災

地震が起こると、家具類の転倒・落下・移動によって火災が発生することがあります。

ストーブや水槽ヒーターなどの熱を発する器具に家具類が転倒等をした場合だけでなく、ストーブ等に家具類の収容物(本棚の本など)が落下することでも、火災が発生する危険があります。

<東日本大震災での出火例>

- 本棚が倒れ、本が電気ストーブに落下し出火
- 電気スタンドが倒れ、布団に接触し出火
- 落下物が、家電製品のスイッチに接触し、スイッチが入ることにより出火など



避難障害

地震により、転倒した家具が扉や窓を塞ぎ、逃げられなくなることがあります。

避難できない状況で、自宅や、近隣の住宅等で火災が発生すると、火災に巻き込まれる可能性が高く、非常に危険です。避難障害を起こさないためには、出入口や避難経路に家具を置かないことや、家具を置く向きを工夫したりする家具等のレイアウトも非常に大切です。

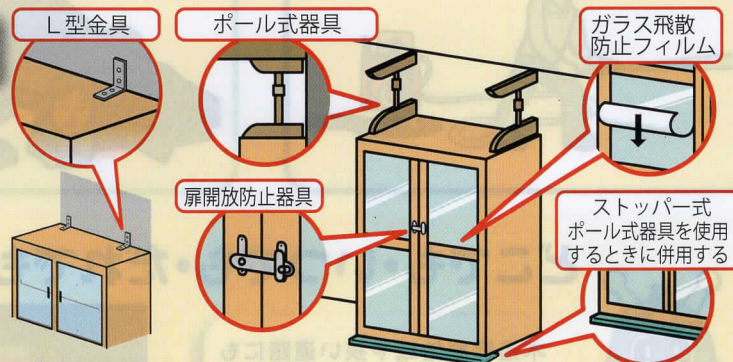


一般的な家具類の転倒・落下・移動防止対策

家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止対策をしておきましょう。

重いものは、下に収納することで家具の重心が低くなり転倒しにくくなります。

就寝中の地震発生に備えて、寝室には大型の家具は置かないようにしましょう。



詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページへはこちらからアクセスできます



問合せ先

荻窪消防署	3395-0119
西荻出張所	3331-0119
久我山出張所	3332-0119
天沼出張所	3391-0119
下井草出張所	3396-0119